

## 「神皇正統記」16世紀の写本 町指定の文化財に認定!!

黒谷の民家から23年前に発見された書物「神皇正統記」の写本が、7月19日に行われた定例教育委員会の中で、「神皇正統記 只見本」として町指定の文化財に認定されました。今後は県指定の文化財を目指します。「神皇正統記」について詳しくは、広報ただみ6月号(No. 553号)P4をご覧ください。



▲「神皇正統記 只見本」



▲ラフティングを楽しむ日本ボーイスカウト那珂3団の皆さん

## 日本ボーイスカウト那珂3団の皆さんが 只見町の伊南川でラフティング体験

7月17日、栃戸地内の伊南川でラフティング体験が行われ、日本ボーイスカウト那珂(茨城県)3団の団員21名が参加しました。小学生の団員はスリル満点のラフティング初挑戦で、最初は水にぬれるのを嫌がっていましたが、最後には「もう1回乗りたい!」と楽しんでいました。

団員の皆さんは、ブナセンターやJパワー只見展示館、遊覧船なども見学・体験し、只見を満喫しました。

## 只見の自然を活かして 草木染め講座を開催

明和・朝日の各振興センターにおいて、坂田在住の安藤由花子さんを講師に迎え草木染め講座が行われました。

6月29日、明和振興センターの講座では玉ねぎの皮を染料に、参加者7名はオリジナルの模様染めに挑戦しました。玉ねぎは「乾燥」させた皮と「生」の皮2つを使い結果、染まり具合はどちらも変わりませんでした。

また、7月14日に行われた朝日振興センターでは5名が参加し、ヨモギを染料に使用しました。模様作りには割り箸やビー玉を使った他、模様を計算して布を糸で結ぶ方法やビニールを使って模様を作るなど様々な手法に挑戦しました。綺麗に染め上がった布には上手く模様が出ており、参加者は出来栄に満足していました。



▲(写真:明和振興センター)玉ねぎの皮

で上手く染めた参加者の皆さん



▲写真で只見の魅力を伝える三井由克さん

## 四季折々の風景写真 「自然首都・只見」写真展を開催

7月18～31日、只見町在住の写真家 三井由克さんの写真展が、季の郷 湯ら里を会場に行われました。

神奈川県出身の三井さんは、只見町に移住されてから四季折々の風景を撮影されてきました。写真展では、只見の自然を様々な角度からとらえた幻想的な写真が並びました。今回の写真展で使用した作品は、ブナセンターに1枚と町観光まちづくり協会で10枚寄付されます。

## ふるさと交流都市との絆を深める

### 2016柏おどりコンテスト出場

7月30日、ふるさと交流都市「柏市」で開催された柏まつりの「柏おどりコンテスト」に、只見町チーム27名が参加し、まつりを盛り上げました。

今年のチームは、昨年も参加した只見高校生や町民の方々、目黒町長などに加えて、「地域おこし協力隊」2名が初めて参加しました。

本番では練習した成果を発揮し、結果「友好賞」となりました(昨年と同成績)。柏おどりをとおし、高校生、協力隊、町民の方々とのチーム内の絆が深まり、また柏市民の方々からも声援をもらい交流が深まりました。



▲◀華麗な踊りを披露する只見町チームと初参加の協力隊!

## 交通安全テント村

### 安全運転を呼びかける交通少年団



▲(写真:明和地区)安全運転を呼びかける交通少年団の皆さん

7月21日、夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動の一環で、町内を走行する自動車などのドライバーに安全運転を呼びかける「交通安全テント村」が行われました。

只見地区は只見ガスセンター前、朝日地区は広域消防署前、明和地区は明和駐在所にテントを設営し、各地区の小中学生による交通少年団などが、交通安全啓発の為にチラシや手作りのキーホルダーなどをドライバーに手渡し、安全運転を呼びかけました。

## 「只見スポーツ少年団」「只見フロンティア」 県大会出場!!

7月16～17日に開催された「白獅子旗争奪」第39回福島県児童ソフトボール南会津西部地区大会において、只見スポーツ少年団が熱戦の末、見事優勝を果たし県大会出場を決めました。県大会は8月6～7日、塙町の町営グラウンドなどで開催されます。(※この記事は7月末時点の内容です。)

また、同じく7月16～17日に開催された第58回福島県早起き野球大会全会津大会において、只見フロンティアが決勝延長戦の末に見事優勝しました。只見フロンティアは8月19～21日、郡山市の開成山野球場をメイン会場とした県大会に出場します。



▲只見スポーツ少年団の皆さん、優勝おめでとうございます!



▲只見フロンティアの皆さん、県大会頑張ってください!